

中小都市における図書館登録者の 利用行動分析

－北広島市図書館登録者調査を事例として（その1）－

The Analysis of Library Use Patterns in the Mid- and Small-Sized City Public Libraries

Research Report on the Kitahiroshima City Library (Part 1)

河 村 芳 行
谷 口 一 弘
新 谷 良 文

1. 研究の目的

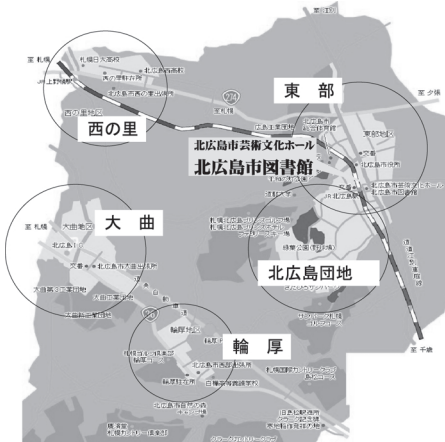
本研究は昨年度（平成14年）に北広島市図書館で実施した来館者調査に続くものである。図書館利用登録者の利用実態を調査し、調査データを分析・評価することにより、生涯学習社会に対応した今後の中小都市における図書館経営計画の策定に向け、新たな「図書館サービス計画」の標準的モデルの設定を目的としている。

本報告は、北広島市図書館の協力のもと平成15年6月に実施した登録者調査の結果をまとめたものである。

2. 北広島市と北広島市図書館の概要



<図2-1 北広島市周辺図>



<図2-2 図書館サービスポイント>

北広島市は石狩平野の中央、札幌市に隣接する小都市として、昭和49年から爆発的に人口が増え始め、平成8年には市制が施行され現在に至っている。JR札幌駅から快速で16分、千歳空港から20分、さらには国道36号線、道道274号線を市内に持ち、道央自動車道の

インターもある非常にアクセスに恵まれた場所にある(図2-1)。人口は59,092人(平成15年3月末人口)で、年間約1,000人程度増加している都市的環境と緑豊かな生活環境を有する都市である。

北広島市の特徴は、分散型の人口配置にある。昭和49年から始まった道営団地の分譲により、従来の市街地であった東部地区の隣に北広島団地が

形成され、爆発的に人口が急増した。そして、現在は国道36号線側の大曲・輪厚地区、そして厚別副都心に隣接する西の里地区に急激な人口増加が見られる。東部地区が約15,000人、北広島団地地区約19,000人、西の里地区約6,000人、大曲地区約17,000人、輪厚地区約3,000人、といった人口配置である。

このような状況から、芸術文化ホールとの複合建築型図書館である本館

他に各地区には分室を設けており、4つの分室と11箇所のBMステーションとで図書館サービスネットワークを展開している(図2-2)。

各図書館の蔵書冊数(平成15年3月31日現在)は、本館201,596冊(東部地区)、住民センター図書室7,122冊(北広島団地地区)、西の里公民館図書室7,336冊(西の里地区)、大曲会館図書室10,765冊(大曲地区)、農民研修センター図書室5,026冊(輪厚地区)となっている。

全職員数は29名(非常勤19人・臨時2人を含む)で、そのうち司書が23名を占めている。内訳としては本館が23名で、大曲図書室のみ2名の非常勤司書を有するが、他はすべて非常勤司書1名の配置となっている。

開館日・開館時間は、火・水・木曜日が10:00~20:00、金・土・日曜日及び開館する祝日が10:00~18:00で、月曜日が休館である。

図書の貸出冊数・貸出期間は1人20冊以内2週間までである。なお、視聴覚資料は館外貸出はおこなっておらず、館内利用のみである。

3. 調査概要

3-1 調査対象

全登録者数は19,999人であるが、調査は13歳以上の北広島市図書館利用登録者17,633人(登録者全体の88.2%:市内15,078人、市外2,555人)の中から無作為に約10%抽出した1,881人を対象として行った。登録者リストは平成13年度の最新版のものを使用した。

3-2 調査方法

調査時点は平成15年6月である。調査は調査票による郵送アンケート方式で、返信用封筒にて6月15日までに北広島市図書館本館への返信を依頼した。北広島市は人口の流出入が激しい傾向にある都市で125通が転居先不明、住所不詳等で戻ってきており、最終回収数は803サンプルで、回収率は45.7%である。

5. 主な利用館

図書館利用者にはそれぞれ、日頃利用し慣れた図書館（利用館）がある。登録者の主な利用館をみたものが表5-1である。本館利用者が80.6%と圧倒的に多く、次いで分室及び最寄りの移動図書館が12.3%となっている。

また、北広島市外の図書館を主な利用館としている登録者も7.1%存在している。以後、この主な利用館（本館、分室・移動、市外）を軸として分析を進める。

<表5-1 館種別主な利用館> 単位：人数(%)

館種	人数(%)	内 訳	人数(%)
本館	640(80.6)	本 館	640(80.6)
分室・移動	98(12.3)	団地住民センター図書室	29(3.7)
		大曲会館図書室	39(4.9)
		西の里公民図書室	21(2.6)
		農民研修センター図書室	4(0.5)
最寄りの移動図書館	5(0.6)		
市外	56(7.1)	北広島市外の図書館	56(7.1)
合計	794(100.0)		794(100.0)

* 主な利用館不明者9名を除く

6. 利用状況

利用理由、利用目的・利用頻度、館内利用・館外貸出、来館経路、及び主な交通手段と所要時間とをまとめたものが以下である。

6-1 利用理由

図書館を利用する理由（2つまで）を尋ねた結果をまとめたものが表6-1である。本館利用者は「資料の豊富さ」に、分室利用者及び市外の図書館利用者は「近さ」に最も魅力を感じている。ここでの「近さ」は、分室・移動図書館利用者は自宅からの近さであり、主利用館が市外の図書館でありながらも北広島市図書館本館をもたまたまに利用している利用者は学校や職場からの近さである。また、本館利用者は他の利用者に比べて利用理由が多岐に亘っており、本館のもつ様々な機能やサービスが利用を促していることや、分室・移動図書館利用者は近さのみならず「慣れ」も大きな理由

となっていることなどが表から見てとれる。

すなわち、本館利用者はアクセスのしやすさよりも「内容重視型」の利用であり、分室・移動図書館利用者は「アクセス・慣れ重視型」の利用と言える。

<表6-1 図書館を利用する理由（2つまで）> 単位：人数（％）

利用理由 \ 館種	本館	分室・移動	市外	全体
1. 本や雑誌などの量や種類が多い	329(51.4)	5(5.1)	15(26.8)	349(44.0)
2. 新しい本や雑誌などが多い	85(13.3)	2(2.0)	3(5.4)	90(11.3)
3. 家や学校、あるいは職場から近い	158(24.7)	70(71.4)	34(60.7)	262(33.0)
4. 駅や商店街に近くて立ち寄りやすい	154(24.1)	2(2.0)	3(5.4)	159(20.0)
5. バスや電車の便がよいなど行きやすい	30(4.7)	2(2.0)	2(3.6)	34(4.3)
6. 駐車場がある	74(11.6)	8(8.2)	4(7.1)	86(10.8)
7. 読書室（自習室）がある	67(10.5)	0(0.0)	2(3.6)	69(8.7)
8. 図書館の職員に相談にのってもらいやすい	16(2.5)	9(9.2)	1(1.8)	26(3.3)
9. その図書館を使い慣れている	128(20.0)	42(42.9)	12(21.4)	182(22.9)
10. 図書館の外観や内部の雰囲気が好き	104(16.3)	1(1.0)	6(10.7)	111(14.0)
11. その他	43(6.7)	13(13.3)	10(17.9)	66(8.3)
合計 ^{*1}	1,188(185.6)	154(157.1)	92(164.3)	1,434(180.6)

* 1 理由2つまでの選択を求めているので合計は100%を越える

* 2 有効サンプル数は主な利用館不明の者9名を除いた794名である

6-2 利用目的と利用頻度

各館種別に利用目的と利用頻度をみたものが表6-2であり、円グラフで視覚的にとらえたものが利用目的（図6-1a～図6-1c）、利用頻度（図6-2a～図6-2c）である。

利用目的（図6-1a～図6-1c）は、分室・移動図書館では「館外借出・返

中小都市における図書館登録者の利用行動分析

却」での利用が約 8 割（82.8％）を占めており、閲覧スペースもわずかであることから貸出機能に特化している状況である。本館では「借出・返却」以外に「調べ物・情報収集」が18.3%、「館内閲覧・利用」が11.4%を占め、この 2 つで約 3 割に達する。市外の図書館利用者においては、「調べ物・情報収集」を目的として利用している人が26.8%も存在していることが分かる。

<表 6-2 利用館別利用目的・利用頻度>

単位：人数(%)

利用館		本館	分室・移動	市外	全体
利用目的	館外借出・返却	391(62.7)	77(82.8)	32(57.1)	500(64.7)
	館内閲覧・利用	71(11.4)	2(2.2)	4(7.1)	77(10.0)
	調べ物・情報収集	114(18.3)	9(9.7)	15(26.8)	138(17.9)
	自習	29(4.6)	1(1.1)	3(5.4)	33(4.3)
	行事・催物への参加	6(1.0)	0(0.0)	2(3.6)	8(1.0)
	その他	13(2.1)	4(4.3)	0(0.0)	17(2.2)
	合計	624(100.0)	93(100.0)	56(100.0)	773(100.0)
利用頻度	ほとんど毎日	6(1.0)	0(0.0)	1(1.8)	7(0.9)
	週に 1 回程度	65(10.5)	8(8.4)	12(21.4)	85(11.0)
	1ヶ月に 2～3 回	214(34.5)	31(32.6)	20(35.7)	265(34.3)
	1ヶ月に 1 回位	136(21.9)	20(21.1)	9(16.1)	165(21.4)
	年に数回	186(30.0)	33(34.7)	13(23.2)	232(30.1)
	それ以下	14(2.3)	3(3.2)	1(1.8)	18(2.3)
	合計	621(100.0)	95(100.0)	56(100.0)	772(100.0)

* 各図書館利用者における利用目的、及び利用頻度不明者を除く

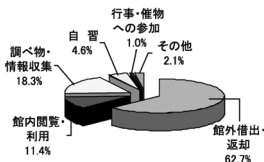


図6-1a 利用目的(本館)

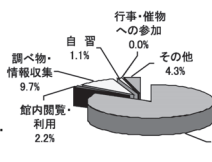


図6-1b 利用目的(分室・移動)

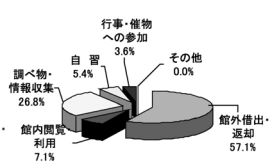
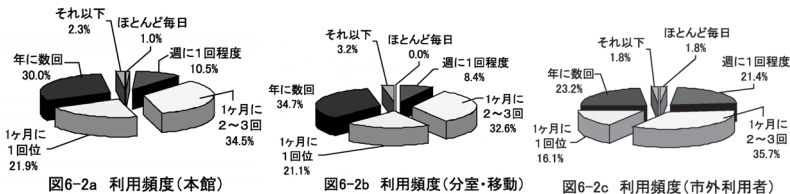


図6-1c 利用目的(市外利用者)



利用頻度(図6-2a～図6-2c)からは、本館、分室・移動図書館の間での大きな差異は認められない。この2つのグループにおいては貸出期限ごとに図書館を訪れる日常的・習慣的利用者(「1ヶ月に2～3回」と、何か目的が生じた時に図書館に出かけて行く目的利用者(「年に数回」)がそれぞれ約3割を占め、その中間的な利用頻度である(「1ヶ月に1回位」)が約2割という状況である。一方、主利用館が市外の図書館である利用者の方が利用頻度が高いという珍しい結果が現れている。その内訳は20歳代・30歳代の大学生と勤務者であり、利用目的と合わせると、市外の図書館を主に利用しながらも「調べ物や情報収集」の必要が生じた際には北広島市図書館本館をも利用するというモビリティの高い目的的図書館利用者像が浮かび上がる。

6-3 館内利用と館外貸出

図書館利用に際して、平均して1回に館内で利用する、あるいは館外に借りていく資料の量を回答してもらった結果を1人平均値で示したものが表6-3である。どの館種の利用者も館内利用よりも館外利用の方が数値が高くなっている。また、本館利用者と分室・移動図書館利用者とを比較すると、分室が施設・設備面で貸出機能に特化しているだけあって、分室・移動図書館利用者は本館利用者に比べて1人平均の館外利用量が多いことがわかる。

<表 6-3 館内利用・館外貸出>

資料	館内利用(1人平均)				館外利用(1人平均)			
	本館	分室・移	市外	全体	本館	分室・移	市外	全体
本(冊)	3.5	3.2	3.9	3.5	4.0	4.5	4.0	3.9
雑誌(冊)	2.4	2.1	2.0	2.4	2.8	3.3	3.0	2.8
新聞(紙)	1.8	1.3	1.7	1.8	—	—	—	—
CD(枚)	1.9	—	1.0	1.8	—	—	—	—
ビデオ(巻)	1.4	1.0	1.5	1.4	—	—	—	—
DVD(枚)	—	—	1.0	1.0	—	—	—	—
その他	8.3	—	3.0	7.2	2.7	—	—	2.7

* 視聴覚資料は館内閲覧のみで館外貸出を行っていない

6-4 直前の場所

どこから図書館に行くことが最も多いかを問うた結果が表6-4である。どの館種の利用者も「自宅から直接」が最も多く、全体で8割の利用者が自宅から直接来館していることがわかる。本館利用者では次いで「学校や職場から」が10.1%、「出先から」が8.0%存在し、市外の図書館を主に利用しながらも必要に応じて北広島市図書館を利用している利用者では「学校や職場」からが17.9%占めている。これは駅近くの商業中心地にある本館の利用者の性格を表わしている。

<表 6-4 来館経路>

館種	本館	分室・移動	市外	全体
自宅から	494(79.3)	83(87.4)	43(76.8)	620(80.1)
学校や職場から	63(10.1)	9(9.5)	10(17.9)	82(10.6)
出先から	50(8.0)	2(2.1)	1(1.8)	53(6.8)
その他	16(2.6)	1(1.1)	2(3.6)	19(2.5)
合計	623(100.0)	95(100.0)	56(100.0)	774(100.0)

* 来館経路不明の者20名を除く

6-5 交通手段と所要時間

図書館へ行く際の主な交通手段は、分室・移動図書館利用者で「徒歩」が42.9%と高い数値を示している他は、どの館種の利用者においても移動手段の代表は自家用車であり、全体では「自家用車」が51.7%を占めている。その移動時間は、主利用館が市外の図書館でありながらも北広島市図書館本館を利用している利用者で平均約19分、本館利用者で平均約12分、分室・移動図書館利用者で平均約9分となっている。

交通手段と所要時間のいずれからも市外の図書館を主利用館にしている利用者が最も利用圏域が広く、次いで本館利用者、分室・移動図書館利用者の順であることが分かるが、距離に応じて移動手段が選択されており全体での平均所要時間は12.5分である。

<表6-5 交通手段と平均所要時間>

交通手段 \ 館種	本館	分室・移動	市外	全体
徒歩	104(21.6) 14.2	27(42.9) 9.5	9(19.1) 15.0	140(23.6) 13.4
自転車	68(14.1) 12.6	9(14.3) 9.3	9(19.1) 12.8	86(14.5) 12.3
バイク	1(0.2) 2.0	0(0.0) -	0(0.0) -	1(0.2) 2.0
自家用車	262(54.4) 10.4	25(39.7) 7.1	19(40.4) 13.5	306(51.7) 10.3
路線バス	35(7.3) 16.2	2(3.2) 25.0	6(12.8) 30.8	43(7.3) 18.7
電車	12(2.5) 22.8	0(0.0) -	4(8.5) 55.0	16(2.7) 30.8
合計*1	482(100.0)	63(100.0)	47(100.0)	592(100.0)
全平均	12.2	9.0	19.4	12.5

*1 交通手段、所要時間のいずれかが不明の者を除く

*2 上段数値：当該交通手段利用者数（人）、及び利用者比率（%）
下段数値：平均所要時間（分）

7. 分室ないし移動図書館利用者の本館利用

ふだんは分室・移動図書館を主に利用している人に、本館の利用頻度を

問うた結果が表7-1である。「年に数回」が47.4%で最も多く、「それ以下」と回答した者も23.1%存在する。分室ないし移動図書館を主に利用している人の本館利用頻度はかなり低い。

その低い利用頻度のなかでも本館を利用するときの目的はなにかを問うた結果が表7-2である。「近くまで用事で行ったときに寄ってみる」という立ち寄り施設の利用が33.3%で最も多く、次いで「本・雑誌などを借りたり、返す」28.2%、「調べ物や情報を得る」12.8%、「分室では読みたい本が見つからなかった」11.5%の順である。分室ないし移動図書館を主に利用している人は「調べ物や情報を得る」必要が生じたり、「分室では読みたい本が見つからなかった」ような場合に本館を利用しており、北広島市図書館においては本館利用者と分室・移動図書館利用者とははっきりと棲み分けされていると言える。

<表7-1 分室・移動利用者の利用頻度>

利用頻度	人数	割合(%)
ほとんど毎日	0	0.0
週に1回程度	1	1.3
1ヶ月に2～3回	10	12.8
1ヶ月に1回位	12	15.4
年に数回	37	47.4
それ以下	18	23.1
合計	78	100.0

* 本館の利用頻度不明者20名を除く

<表7-2 分室・移動利用者の利用目的>

利用目的	人数	割合(%)
本・雑誌などを借りたり、返す	22	28.2
本館の施設内で本・雑誌などを利用する	1	1.3
分室では読みたい本が見つからなかった	9	11.5
調べ物や情報を得る	10	12.8
読書室を使って読書や自習をする	3	3.8
図書館の行事や催し物に参加する	1	1.3
近くまで用事で行ったときに寄ってみる	26	33.3
その他	6	7.7
合計	78	100.0

* 本館の利用目的不明者20名を除く

8. まとめ

- 1) 図書館利用登録者の主な利用館は、本館利用者が80.6%と圧倒的に多く、次いで分室及び最寄りの移動図書館利用者が12.3%、北広島市外の図書館利用者が7.1%となっている。
- 2) 本館利用者はアクセスのしやすさよりも「内容重視型」の利用であり、分室・移動図書館利用者は「アクセス・慣れ重視型」の利用である。
- 3) 分室・移動図書館利用者は「館外借出・返却」での利用が約8割を超えているが、本館利用者では「借出・返却」以外にも「調べ物・情報収集」や「館内閲覧・利用」で約3割を占めている。
- 4) 利用頻度からは、本館利用者と分室・移動図書館利用者との間には大きな差異は認められず、どちらも日常的・習慣的利用者（「月に2～3回」と、目的利用者（「年に数回」）が約3割ずつ占めている。
一方、主利用館が市外の図書館である利用者の方が利用頻度が高いという結果が現れている。
- 5) どの館種の利用者也館内利用より館外利用の方が高い数値を示しているが、本館利用者よりも分室・移動図書館利用者の方が1人平均の館外利用量が多い。
- 6) どの館種の利用者也「自宅から直接」図書館に行く人が多く、全体で約8割を占めており、図書館は「立ち寄り施設」ではなく「目的施設」であると言える。一方、ふだんは「分室ないし移動図書館を利用している者」が本館を利用する際には、「立ち寄り施設」的利用が約3割を占めている。
- 7) どの館種の利用者においても移動手段の代表は自家用車であり、全体では「自家用車」が51.7%を占めている。
- 8) 利用圏域は、市外の図書館を主利用館にしている利用者が最も広く、次いで本館利用者、分室・移動図書館利用者の順である。

- 9) 図書館までの平均所要時間は、市外の図書館を主利用館にしている利用者19.4分、本館利用者12.2分、分室・移動図書館利用者9.0分の順であるが、距離に応じて移動手段が選択されており全体での平均所要時間は12.5分である。
- 10) いつもは分室ないし移動図書館を利用している人の本館利用は、約7割強が「年に数回以下」であり、本館利用者と分室・移動図書館利用者とははっきりと棲み分けがされている。

なお、本研究は北海道武蔵女子短期大学共同研究費「中小都市における図書館利用登録者の図書館利用動向調査」(研究代表：河村芳行)の成果の一部である。

参考論文

- 1) 河村芳行：都市型公共図書館における来館者の図書館利用行動
－ 北広島市図書館来館者調査を事例として －，北海道武蔵女子短期大学紀要第35号，pp. 19-56，2003. 3
- 2) 河村芳行：都市型公共図書館における登録者の類型別図書館利用行動
－ 北広島市図書館登録者調査を事例として －，第51回日本図書館情報学会研究大会発表要綱，pp. 41-44，2003. 10

付：図書館利用についての調査票

I. 調査の趣旨

この調査は、市民の皆様が日頃、図書館を使っておられる状況や評価をお伺いすることによって、これからの図書館のサービス計画に有益な資料を得ることを目的とし、北海道武蔵女子短期大学と北広島市図書館が共同で実施するものです。

II. 記入上の注意

- * 1 本調査票は北広島市図書館に登録されている13歳以上の方の中から無作為に10%抽出してお送りしております。ご面倒でも調査の趣旨をご理解頂きご協力をお願い致します。
- * 2 調査結果は統計的に処理致しますので皆様にご迷惑のかかるようなことは一切ございません。返信用封筒にて6月15日までに北広島市図書館へ郵送願います。
- * 3 もし、ご不明・ご不審な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

平成15年6月1日

北海道武蔵女子短期大学+北広島市図書館

図書館サービス研究グループ

お問い合わせ先：北海道武蔵女子短期大学助教授 河村 芳行

北海道武蔵女子短期大学助教授 谷口 一弘

〒001-0022 札幌市北区北22条西13丁目

TEL 011-726-3141(代表)

北広島市図書館普及担当主査 新谷 良文

〒061-1121 北広島市中央6-2-1

TEL 011-373-7667(代表)

- I. あなたご自身についてお伺い致します。(該当するもの1つに○印を付けて下さい)

1) あなたは、 1. 男性 2. 女性

2) お年は、

1. 13歳～15歳 2. 16歳～19歳 3. 20歳～29歳

4. 30歳～39歳 5. 40歳～49歳 6. 50歳～59歳 7. 60歳以上

3) あなたのご職業は、(枠内にも○印をお願いします)

1. 自営・家族従業者

2. 勤務者

3. 主婦

4. 学生

5. 無職

11 商工サービス業 12 農業

21 専門職・技術職 22 管理職

23 事務関係 24 販売関係

25 サービス関係 26 保安職業関係

27 農林漁業 28 運輸・通信関係

29 技能工・建設作業者及び労務作業者

210 その他

中小都市における図書館登録者の利用行動分析

- 4) 現在在学中または最後に出られた学校は、
1. 中学校
 2. 高等学校 (含: 旧制中学)
 3. 短大・高専
 4. 大学
 5. 大学院
 6. その他
- 5) あなたのお住まいの地区は、
1. 東部地区
 2. 広島団地地区
 3. 西の里地区
 4. 大曲地区
 5. 西部地区
 6. その他 (北広島市外)

II. あなたの読書量についてお尋ねします。

この1ヶ月(5月1日から5月31日まで)に、どのくらいの読書をしましたか?
(製本した雑誌も含む) 本、雑誌、マンガ別に読んだ数を、その入手方法別にお答え下さい。ただし、本のうち教科書・参考書と辞書は除いて下さい。

入手方法 \ 種類	本 (冊)	雑誌 (種)		マンガ (冊)
		週刊誌	月刊誌	
1. 自分で買ったもの				
2. 自宅にあったもの				
3. 北広島市図書館のもの (館内+借り出し)				
4. 他の図書館のもの (札幌市など)				
5. 学校図書館のもの				
6. 書店での立ち読み				
7. その他の方法で				

III. 北広島市図書館についてお尋ねします。

- 1) それぞれの図書館を知っていますか? あてはまる番号1つに○印を付けて下さい。

図書館名 \ 認知度	名前も場所も 知っている	名前は知っている が場所は知らない	名前も場所も 知らない
1. 本館	1	2	3
2. 北広島市団地 住民センター図書室	1	2	3
3. 北広島市大曲会館図書室	1	2	3
4. 西の里公民館図書室	1	2	3
5. 北広島市農民 研修センター図書室	1	2	3
6. 最寄りの移動図書館	1	2	3

2) あなたの自宅から最も近い図書館はどこですか？1つに○印を付けて下さい。

1. 本館
2. 北広島市団地住民センター図書室
3. 北広島市大曲会館図書室
4. 西の里公民館図書室
5. 北広島市農民研修センター図書室
6. 最寄りの移動図書館
7. 北広島市外の図書館

3) 自宅からその最寄りの図書館までの距離はおよそ何メートルぐらいですか？

1. 200m未満
2. 200～400m未満
3. 400～600m未満
4. 600～800m未満
5. 800～1km未満
6. 1km～1.5km未満
7. 1.5km～2km未満
8. 2km～3km未満
9. 3km～5km未満
10. 5km～10km未満
11. 10km以上

4) あなたが主に利用している図書館はどこですか？1つに○印を付けて下さい。

1. 本館
2. 北広島市団地住民センター図書室
3. 北広島市大曲会館図書室
4. 西の里公民館図書室
5. 北広島市農民研修センター図書室
6. 最寄りの移動図書館
7. 北広島市外の図書館

5) あなたが主に利用している図書館までの距離はおよそ何メートルぐらいですか？

1. 200m未満
2. 200～400m未満
3. 400～600m未満
4. 600～800m未満
5. 800～1km未満
6. 1km～1.5km未満
7. 1.5km～2km未満
8. 2km～3km未満
9. 3km～5km未満
10. 5km～10km未満
11. 10km以上

6) あなたはなぜその図書館をよく利用するのですか？あてはまる理由(2つまで)を選んで○印を付けて下さい。

1. 本や雑誌などの量や種類が多い
2. 新しい本や雑誌などが多い
3. 家や学校、あるいは職場から近い
4. 駅や商店街に近くて立ち寄りやすい
5. バスや電車の便がよいなど行きやすい
6. 駐車場がある
7. 読書室(自習室)がある
8. 図書館の職員に相談にのってもらいやすい
9. その図書館を使い慣れている
10. 図書館の外観や内部の雰囲気が好き
11. その他(具体的に: _____)

中小都市における図書館登録者の利用行動分析

7) その図書館へはどこから行くことが最も多いですか？1つに○印を付けて下さい。

1. 自宅から
2. 学校や職場から
3. 買物などの出先から
4. その他の所から（具体的に： _____）

8) その図書館へ行くときの主な交通手段と所要時間をお答え下さい。

（複数の乗り物を利用して来られた方は、最も長い時間のかかったものを1つお答え下さい）

- | | |
|---------|----------------------------|
| <交通手段> | <所要時間> |
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自家用車 …………… 合計で _____ 分位 |
| 5. 路線バス | 6. 電車 |

9) その図書館の本・雑誌・CD・ビデオ・DVDなどをどのくらい利用していますか？平均して1回に読んだり聴いたり、借りてくる本と雑誌などの数を種類別にお答え下さい。

	本 (冊)	雑誌 (冊)	新聞 (紙)	CD (枚)	ビデオ (巻)	DVD (枚)	その他
図書館の中で読んだり聴いたり見たりする							
家に借りてくる			X	X	X	X	

10) その図書館をどのくらいの回数で利用していますか？1つに○印を付けて下さい。

1. ほとんど毎日
2. 週に1回程度
3. 1ヶ月に2～3回
4. 1ヶ月に1回位
5. 年に数回
6. それ以下

11) 前回その図書館を利用したときの目的は何でしたか？最もあてはまる目的1つに○印を付けて下さい。

1. 本・雑誌などを借りたり、返す
2. 図書館の中で本・雑誌・新聞・CD・ビデオ・DVDなどを利用する
3. 調べ物や情報を得る
4. 自習する
5. 図書館の行事や催し物に参加する
6. その他（具体的に： _____）

12) 主に利用している図書館について、どのような評価をお持ちですか？

以下の項目についてこの程度だと思われる番号1つに○印を付けて下さい。

	満 足	どちらかと言え ば満足	どちらかと言え ば不満足	不 満 足	わ か ら い
1 本や雑誌の量や種類	1	2	3	4	5
2 本や雑誌の新しさ	1	2	3	4	5
3 本や雑誌の内容	1	2	3	4	5
4 本や雑誌の並べ方	1	2	3	4	5
5 コンピューター閲覧目録	1	2	3	4	5
6 館内案内表示(サイン)	1	2	3	4	5
7 情報化(IT)への対応	1	2	3	4	5
8 イベント(お話会等)	1	2	3	4	5
9 図書館までの距離	1	2	3	4	5
10 図書館までの交通の便	1	2	3	4	5
11 駐車場のスペース	1	2	3	4	5
12 図書館の施設設備	1	2	3	4	5
13 図書館内の雰囲気	1	2	3	4	5
14 図書館員の応対	1	2	3	4	5
15 図書館が開く時間	1	2	3	4	5
16 図書館が閉る時間	1	2	3	4	5
17 開館日(曜日も含む)	1	2	3	4	5
18 以上を総合しての 図書館サービス全体	1	2	3	4	5

13) その図書館で本や雑誌の量や種類をもっと充実した方が良いと思われるものはどんな内容のものですか？2つまでを選んで○印を付けて下さい。

- | | | |
|---------------------------|---|--------------|
| 1. 小説・エッセイなどの読みもの | } | 31 人文科学分野 |
| 2. 趣味・実用書 | | 32 社会科学分野 |
| 3. 専門書(内容にも1つ○印をつけてください) | | 33 自然科学・工学分野 |
| 4. 絵本・紙芝居 | | 34 医学分野 |
| 5. マンガ | | 35 体育や芸術分野 |
| 6. 中学生から高校生向きの本 | | 36 百科事典・年鑑など |
| 7. 本や雑誌以外の資料(具体的に: _____) | | |
| 8. その他(具体的に: _____) | | |

中小都市における図書館登録者の利用行動分析

IV. 北広島市図書館としてただちに実現可能とは限りませんが、将来的に次のような機器・施設設備やサービスはある方がよい、ないしは充実させるのが望ましいでしょうか？次の各項目それぞれについて、あなたの考えに最も近い意見の番号1つに○印を付けて下さい。

施設・設備サービス	有料でもあった方がよい、または有料でも充実させた方がよい	無料ならあった方がよい、または無料なら充実させた方がよい	無くてもよい
1. セルフサービスの複写機（コイン式）	1	2	3
2. パーソナルコンピュータ（レンタル）	1	2	3
3. 各種データベース（CD-ROM）	1	2	3
4. 喫煙コーナー	1	2	3
5. 軽食・喫茶コーナー	1	2	3
6. 駐車場スペース	1	2	3
7. 自習室（研究個室）	1	2	3
8. BDS （自動貸出機能付き資料盗難防止装置）	1	2	3
9. パソコンを利用した講習会など（IT講習会やe-mailなどを使った通信講座）	1	2	3
10. インターネットの開放（自由閲覧）	1	2	3
11. 各種有料データベースとの接続（新聞記事、雑誌記事、経済・企業情報など）	1	2	3
12. SDIサービス（あらかじめ申し込んでおいたテーマについての資料や文献、記事情報などをe-mailなどを使って定期的に配信する登録制のサービス）	1	2	3
13. ブックスタート事業（0歳児と、その母親に本などをプレゼントする事業）	1	2	3
14. 学校教育との連携（市内の小・中学校の全学級に30冊の本を配置し、巡回させる事業）	1	2	3
15. 図書選定ツアー（書店に向き図書館に置くべき本を購入）	1	2	3
16. 各種催し物・イベントの開催（紙芝居、映画上映会、コンサートなど）	1	2	3
17. AV資料（CD・DVDなど）の館外貸出	1	2	3
18. 移動図書館車（バス）による巡回	1	2	3

V. **本館以外の図書館（分室ないし移動図書館）を主に利用している方だけに伺います。本館を主に利用している方はVIへお進み下さい。**

1) あなたは本館をどの位の頻度で利用していますか？あてはまるもの 1つに○印を付けて下さい。

1. ほとんど毎日 2. 週に1回程度 3. 1ヶ月に2～3回
4. 1ヶ月に1回位 5. 年に数回 6. それ以下

2) あなたが本館を利用するのはどういうときですか？あてはまるもの 1つに○印を付けて下さい。

1. 本・雑誌などを借りたり、返す
2. 本館の施設内で本・雑誌・新聞・CD・ビデオ・DVDなどを利用する
3. 分館（分室）では読みたい本がみつからなかった
4. 調べ物や情報を得る
5. 読書室を使って読書や自習をする
6. 図書館の行事や催し物に参加する
7. 近くまで用事で行ったときに寄ってみる
8. その他（具体的に： _____）

VI. あなたにとって、北広島市図書館がもっと便利で魅力的な図書館になるためにはどうあったら良いと思いますか。あえて1つだけ選ぶとしたら以下のどれが最も効果的でしょうか。あてはまるもの 1つに○印を付けて下さい。

1. 自宅の近くに分館（図書室）を建設する
2. もっと早い時間から開館する（通常、10時開館）
3. もっと遅い時間まで開館する（通常、火・水・木20時、金・土・日18時閉館）
4. 本や雑誌の種類をもっと多く備える
5. 新しい本をもっと多く購入する
6. 借りられる冊数を多くしたり貸出期間を延長する（現在20冊2週間まで）
7. 本を読むための座席を多くする
8. AV資料（ビデオ／CD／DVDなど）をもっと多く備える
9. AV資料（ビデオ／CD／DVDなど）の館外貸出を行う
10. 図書館司書（専門職員）を多くする
11. インターネットの開放やコンピュータ講習会を開く
12. その他（具体的に： _____）

VII. あなたは北広島市図書館のどのサービス分野を最優先に充実させるべきだと思いますか？あてはまるもの1つに○印を付けて下さい。

1. こどもの読書・学習活動への対応の充実
2. ビジネス支援など調査学習支援機能の充実
3. ベストセラー・新刊書などの貸出閲覧機能の充実
4. AV資料（ビデオ／CD／DVDなど）などの充実と館外貸出機能の充実
5. 地区図書室などの地域ネットワーク機能の充実
6. 障害などで来館できない人のためのサービスの充実
7. 開館日・開館時間の拡大
8. 駐車場・喫茶コーナーなど利便性の充実
9. その他（具体的に： _____）

VIII. 平成14年度の北広島市図書館（本館、全分室・移動図書館）での人口1人あたりの運営経費は、3,346円（総経費196,224,000円÷総人口58,646人=3,346円）になっています。これについて、あなたの考えに最も近い意見1つに○印を付けて下さい。

1. もっと費用をかけてもサービスの水準を向上させるべきである。
2. 現状のままでよい。
3. 費用がかかりすぎなのでサービスの水準をおとすのもやむをえない。

* ご協力まことにありがとうございました。なお、図書館活動全般について、*
* ご意見・ご要望等がございましたら以下にご自由にお書き下さい。 *

